

[illegible]

## ■ ■ ■ 8 月納涼例会レポート ■ ■ ■

台風 10 号接近!との情報で 開催を直前まで決めかねた今年の「納涼例会」。結果迷走台風となり、8 月 27 日(火)に計画通り名古屋市千種のサッポロビール浩養園にて開催できました。昨年の名港クルーズ納涼例会に続き、恒例となつつある今年の納涼例会のコンセプトは

1. クラブチャーター 77 年目当日の開催を祝う。
2. クラブ内外のビジター・ゲストを誘うプラスワン例会。
3. 会員増強 EMC を意識する。

の 3 点で、特別なプログラムは用意せず、ゆったりと美味しい食事と名物ビールを堪能しながら 同席となった人とお



話しを楽しめれば良いとの思いで計画しました。

結果、総勢 39 名(ゲスト 17 名、ビジター・メネット 11 名、クラブメン

バー 11 名)にて賑やかで和やかな例会となりました。名古屋グランパスクラブ・南山ハーベストクラブのメ



ンバー、名古屋 YMCA 教職員のみなさま、日和田キャンプのシニアボランティア、元少年部メンバー、そしてクラブメンバーの知人・友人……。さまざまな形で名古屋 YMCA に関わる方々と楽しい時間が共有でき、名古屋クラブと名古屋 YMCA の関係を知っていただく良い機会となりました。

遠路はるばる神戸から駆けつけてくださった鵜丹谷剛西日本区理事、部長公式訪問としてご参加の服部中部部長はじめ、参加者お一人お一人に心からの感謝を申し上げます。

来年も計画し、名古屋クラブ恒例のプログラムに成長出来ればと思います。(川本龍資)

## ■ ■ ■ 9 月第一例会レポート ■ ■ ■



9 月例会は、京都トゥーピークラブメンバーで写真家の山口真一さんを講師に迎えて写真についてお話しいただいた。山口さんには、深谷理事期の名刺や理事通信の作成に加えて、西日本区大会でも写真をととても多く撮っていただいた。深谷理事の写真、人柄を引き

出すような写真でしたね。そして鵜丹谷理事期も引き続き名刺や理事通信の作成をしてくださっている。鵜丹谷理事の雰囲気がよく伝わりますね。

今回は、スマホでの写真の撮り方の秘訣を教えてくださいました。①広角と望遠については 広角はゆがみが大きくなる、望遠は見た目に近い。②構図については、人間は一点をずっと見ていると落ち着かなく感じるので、取りたいものを真ん中に置くのではなく、少しずらすとよい。スマホならグリッ

ド線に目線を合わせるとよい。③女性を撮影するときは少しは明るくとるとよい。反射率の高いもの(白)は顔が暗くなる。④大仏殿と人を撮るときは、大きいもの(大仏殿)を先に入れて、人物は手前に置くとよい。

山口さんは、撮った写真を残すのが本分で 写っている人の体験を疑似体験できる、その時楽しかったとか。いい写真ならプリントしてアルバムに貼るとよい、とのこと。

また、希望者に写真を撮ってくださり、皆とてもいい写真ができました。

山口さん、ありがとうございました。

(川口恵)



### ブリテン委員よりお願い

各号に例会以外の活動報告を掲載しておりますが、全て当委員で把握出来ておりません。ワイズや YMCA 関係の行事に参加された方は その旨ブリテン委員にお知らせください。よろしくお願いします。

### 名古屋ワイズ ホームページとフェイスブックの紹介

名古屋ワイズメンズクラブの様々な情報はパソコンからは HP : <https://nagoya-club.wixsite.com/toppage> FACEBOOK : 名古屋ワイズメンズクラブと検索 スマホからは 1 p 表題にある QR コードをスキャンすれば見ることが出来ます。一度覗いてみて下さい

## 10月 第一例会講師

## 山川 潔 氏

今月は6月に名古屋クラブに入会されました山川潔さんに そのお仕事である保険についてお話しいただきます。  
山川さんは最初コンピューター関係のお仕事をされた後 お父様の保険のお仕事を引き継ぐ形で保険業界に入り  
現在自らの保険代理店を経営されています。当日は昨今の保険事情をお話いただく予定です。

## ■■■■ 第2例会レポート ■■■■

と き :2024年9月16日(月・祝) 19:00～20:30

ところ :Zoom リモート

## 1. 8月納涼例会振り返り

- ・ゲスト:17名、ビジター(メネット含む)11名、メンバー11名 合計39名でサッポロビール浩養園にて開催できた。クラブチャーター77周年を他クラブワイズ・名古屋YMCAスタッフと共に祝いができ感謝な時となった。

## 2. 9月第1例会(9月10日)

- ・プロの写真家山口真一ワイズ(京都TOBE)を迎え、スマホ写真術など実用的な内容も盛り込んだ卓話内容で興味深くお聞きすることが出来た。写真館さながらの設備もご用意いただき、各メンバー記念になる写真も撮影頂けて感謝。

## 3. 10月以降の例会内容&amp;卓話者検討(毎月がプラスワン例会を意識して・・・)

- ・10月例会 10月 8日(火) 山川潔ワイズを候補者とする。(折衝:加藤会長)
- ・11月例会 11月12日(火) 名古屋YMCA日本語学院教師:犬飼氏(折衝:渡辺ワイズ)
- ・12月例会 12月14日(土) クリスマス礼拝+祝会(クリスマス委員を立ち上げ)
- ・2月例会 2月11日(祝) TOF 例会?

## 4. 11月 CS事業「愛実の会:芋ほり体験」11月7日(木) 10:30～11:30

- ・愛実の会、南山ハーベストクラブとの相談要
- ・雨天予備日:11月14日(木)
- ・前日もしくは当日早朝より、参加者が掘りやすくするための準備が必要。

## 5. 名古屋YMCA プログラム

- ・名古屋YMCA 大会:10月6日(日) 13:30～ KKR ホテル
- ・南山幼稚園・南山ファミリーYMCA バザー:10月27日(日)(奉仕等詳細後日)
- ・名古屋YMCA チャリティーラン:11月2日(土)(奉仕等詳細後日)

- ・日本YMCA 大会(同盟主催):11月15日～17日 於) 東山荘
- ・名古屋YMCA チャリティーゴルフ:11月21日(木) 鈴鹿カントリークラブ
- ・クリスマスキャロルIN タワーズ:12月7日(土)

## 6. クリスマス例会について (12月14日(土) ホテル名古屋ガーデンパレス)

- ・例年通り、第1部礼拝、第2部例会+祝会とする。
- ・早急にクリスマス委員を立ち上げる。委員(加藤、西村、谷川、川本)に決定した。
- ・アトラクション候補者「HSE48(誰もが愉しめるバイオリンアンサンブル)」
- ・2024年1月以降の卓話者を招待する。

## 7. その他

- ・中部部会 9月28日(土) ホテルルブラ王山 15:00～18:00
- ・熱海グロリークラブ40周年 10月20日(日) 14:00～18:00  
場所:熱海芸妓歌舞練場  
登録費:15,000円(当日クラブ毎に)  
登録:参加者は9月26日までに書記川本までメールの事(川本龍資)

|           |     |        |
|-----------|-----|--------|
| メン        | 7日  | 加藤明宏さん |
| ハッピーバースデー | 27日 | 深谷 聡さん |
| メネット      | 3日  | 渡辺規子さん |

## 会計より会費納入のお願い

会費は月額7,000円、年額84,000円です。できるだけ6ヶ月分42,000円を7月と1月に納入して下さるようお願いいたします。(3ヶ月ずつ納入される方は7月、10月、1月、4月に納入して下さい)  
ゆうちょ銀行 記号12120 番号82306781  
なまえ ナゴヤワイズメンズクラブ



# Menettes of Nagoya Y's Men's Club

## 今月の聖句

「主のために、すべての人間の立てた制度に従いなさい。それが統治者としての皇帝であろうと、…すべての人を敬い、兄弟を愛し、神を畏れ、皇帝を敬いなさい。…同じように、妻たちよ、自分の夫に従いなさい。」

(ペトロの手紙一 2 章 13 節・17 節 3 章 1 節)

西 村 清

今まで今月の聖句としてペトロの手紙を取り上げたことはなかったかと思います。聖書の中で取り上げられています手紙はいろいろなタイプがあります。使徒パウロが書いた手紙が多いのですが、しかしパウロという権威を借りて、他の著者が書いたものもあります。研究者の間では偽パウロ書簡と呼ばれています。

このペトロの手紙も、偽ペトロ書簡になります。この手紙の内容から、少アジアの全土に教会が離散したもっと後の時代の教会にあてられたもので、ペトロやパウロの時代よりずっと後のことになります。またペトロの手紙は極めて優れたギリシャ語文章で書かれていることも（ちなみに私はどれほど優れたギリシャ語が判断できません）、この手紙がガリラヤの漁師の手になるとは思われない。ペトロの母国語はギリシャ語でなかったからだと言学者は言います。また手紙を書くのは本名を名乗り、決してあだ名や通称で書くことはなかったのです。しかしこの手紙の冒頭にペトロ（ヘブライ語ではケファ）と言い、いずれも「岩」と言

う意味で、イエス・キリストがアンデレの兄弟シモンをケファ（ペトロ…ギリシャ語）と呼ばれた。この手紙を受け取った人々がこれは信仰の「岩」（土台）であるペトロからきた手紙として重視されることを願ったからと考えられます。パティカンをペトロ寺院と呼ぶのもそのためです。

さて、先日の教会の日曜礼拝において、若い女性の伝道師がこの聖書から説教するのはとても抵抗を感じると話されました。時代に逆行するような言葉が出てきます。確かに今は民主主義の時代で、また最近は女性があまりにも男性に比べて、あらゆる点で差別されている。こういったことは是正しなければならないとして、男女共同参画が叫ばれ、議員や会社の役職等にも、もっと女性を増やすべきだと言われる時代です。

聖書もいろいろな読み方があることを知っておくことは大切です。単に古いことと片づけないで、今の時代にどういう意味があるかと、再解釈が求められているのではないのでしょうか。

.....

## YMCA ニュース

### 言葉の力

「神々の国からやって来た少年たちの快進撃は、100 年の甲子園でまだ続きます！」

上記の言葉は今年の夏の甲子園で島根代表の大社高校がベスト 8 に進んだ時の実況です。この 1 行の文章で全てを表しているのがすごいと感じます。「神々の国からやって来た＝そんなに野球が強い県でもない島根県代表」、「少年たち＝球児」、「快進撃＝優勝候補や経験高校に公立高校が勝つ」、「100 年の甲子園＝甲子園ができて 100 年の記念」、「まだ続きます＝旋風を巻き起こしてまだまだ期待できる」そんな風に取り得る「言葉の力」があります。

少し前置きが長くなりましたが、保育園、幼稚園では運動会が行われます。中には運動が苦手な子、集団でするのが

苦手な子、いつもの雰囲気と違うといやな子等「運動会＝みんなが楽しみ」というわけではありません。こひつじ保育園も 9 月 15 日に運動会がありひとりだけ「運動会がいやだった」と感想を言った園児がいました。聖書の言葉で「朽ちない冠を得るために節制」という言葉があります。過程が大切でそこに価値があるということを表しています。運動会の準備する過程で指導者は毎日子どもたちに多くの言葉をかけます。「その言葉に力があるか」「その言葉は子どもたちに届いているか」ということを意識しながら、子どもたちに「言葉掛け」をすることが大切だと強く感じさせられた運動会でした。（中井信幸）